

# 日本家庭医療学会新役員会議事録

日 時：2008年5月31日（日）10:00～11:00

会 場：東京大学 山上会館 地階 001（東京都文京区本郷 7-3-1）

出席者：新役員 内山富士雄、大西弘高、葛西龍樹、亀谷 学、草場鉄周、  
白浜雅司、竹村洋典、長 純一、西村真紀、伴 信太郎、藤  
沼康樹、前野哲博、松下 明、山田隆司、山本和利

若手家庭医部会 朝倉健太郎

選挙管理委員 齊藤裕之

（以上、敬称略）

## 1. 選挙管理委員長挨拶

選挙管理委員の齊藤委員長より、今回の選挙に関して報告があり、前回の選挙の投票数から比べ、2倍の投票数となったことが述べられた。

選挙結果：有権者数 1711 名

投票数 2180 票（うち、白票 338 票、無効票 4 票）

選挙用紙を紛失した場合の対応について、今回は重複投票になる可能性があるので再発行はしないという結論を出したことが報告され、今後も再発行はしないということで選挙公告に追加することが提案された。この件については、今後の理事会で議論していくこととなった。

## 2. 新代表理事選出

山田（現）代表理事が選任され、被選任者はその就任を承諾した。

## 3. 新代表理事挨拶

山田（新）代表理事より、就任にあたっての抱負が述べられた。

## 4. 新副代表理事選出

副代表理事に葛西（現）副代表理事と竹村（現）副代表理事が選任され、被選任者はその就任を承諾した。

## 5. 監事選出

監事に亀谷（現）理事と山本（現）理事がそれぞれ選任され、被選任者はその就任を承諾した。

## 6. 指名理事について

指名理事の候補として、3学会の意見の取りまとめをする能力のある方、立候補者、開業医、若手医師などの意見が出され、決定については役員選挙規則に基づいて山田代表理事に一任することとなった。

## 7. 若手家庭医部会事業

若手家庭医部会の朝倉新代表より、若手家庭医部会の選挙結果について報告があった。また、今後の活動計画と抱負が述べられた。

## 8. 会員数報告

山田（新）代表理事より、会員数について報告があった。

会員数：1,701名（うち、医師会員1,580名）

入会者：92名（2008年2月1日～2008年4月30日）

退会者：103名（2008年2月1日～2008年4月30日）

未納者：63名（H17まで納入済）

会費未納率：64%（2008年4月30日現在）

## 9. 平成20年度事業・予算について

山田（新）代表理事より、平成20年度の事業計画・予算について説明があり、先に開催された現理事会で承認されたことが報告された。

## 10. 後期研修プログラムについて

竹村副代表理事より、家庭医療指導医申請書の変更案について説明があった。申請書の内容のほか、この申請を行う対象者や認定までのプロセス、認定基準について各種意見が出され、今回の議論を踏まえて認定委員会にて再度変更案を作成しなおすこととなった。

その他、指導医申請について、申請料を設定するべきとの意見が出された。

## 11. 3学会の合併について

山田代表理事より、3学会合併の進捗状況について報告があった。

・前項の後期研修プログラムについて、3学会での認定試験にも関係してくることから、今後はさらに認定委員会の組織を強化し、特に事務的な面で竹村副代表理事を中心に進めていきたい。また、指導医や制度設計、日本家庭医療学会認定後期研修プログラム Ver.2の作成についても早急に調整していきたいとの意向が示された。

・来年度のプログラム修了者の認定試験は、プライマリ・ケア学会と合同で行う方向で調整が進んでいるが、具体的な内容はまだ決まっていないことが報告された。これに対し、試験の方法や日程などについて、早めにアナウンスを行う必要があるとの意見が出された。

- ・3学会の合併による学会の解散については、来年の総会で承認を諮ることが報告された。
- ・3学会合同の法人化検討委員会について、現在は福士幹事と事務局が参加しており、今回の役員改選を機に新理事にも加わっていただきたいとの要望が述べられた。

## 12. その他

竹村副代表理事より、「プライマリ・ケア医のための臨床研究デザイン塾」への後援依頼があったことについて、3学会合同で進める研究に関する後援については受けることが過去の理事会で承認された経緯に基づき、今回も後援を行うこととしたことが報告された。

最後に山田代表理事より、指名理事を早めに決定して報告すること、次回理事会にて各委員会の新メンバーを決定する予定であることが述べられた。